

令和4年12月16日(金)

14:00～16:30 (予定)

ハイブリット開催

東京会場：定員20名

[日本交通公社ビル地下1階](受付開始13:30～)

オンライン[Zoom](開始13:45～)

参加無料 (参加申込要)

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、開催方法を変更する可能性がございます。

青山一丁目駅から徒歩で3分

第12回 チーム新・湯治セミナー

温泉地での滞在全体の療養効果を把握する

温泉地の魅力向上や人々の健康増進に寄与することを期待して、全国の温泉地では、温泉地に滞在することの療養効果－温泉地での滞在全体がどのように心身へ影響を与えるか－を把握する調査が長年続けられてきました。本セミナーでは、各地での近年の取組やその調査結果を通じて、温泉地の療養効果の把握、共有方法や結果の発信方法についてチーム員の皆さんと一緒に学び考えます。

1. 開会挨拶

2. セミナーの趣旨説明、講師紹介

3. 「チーム新・湯治」の活動予定、チーム員からの報告

ご自身の活動をチーム員にお知らせ(発表)したい方へ
今回のセミナーでは、自身の活動をお知らせ(発表)したい、参加者から反応を聞いてみたいという方に発表の時間を設けます。ご希望の方は、申込フォームでご申請ください。ただし、希望人数や内容によっては、ご希望に沿えない場合がございます。何卒ご容赦ください。

4. 発表① 健康意識改革のための温泉ウエルネスプログラム

講師 岡田友悟氏 (NPO法人日本スパ振興協会 理事長)

増富の湯にて、ウエルネスプログラム『温泉×森林アクティビティ×香り』を行うとともに、血糖値の変化をモニタリング・数値の比較分析。ウエルネスプログラムによる健康関連指標の改善効果を証明。

令和3年度
新・湯治の効果
に関する
協同モデル調査

増富の湯
(山梨県北杜市)



5. 発表② 療養地としての特徴と

地域資源を活かした新・湯治プログラム

講師 向上潤氏 (湯野温泉事業協同組合 (代理) / 近畿日本ツーリスト株式会社 四国支店)

鏡裕行氏 (旧 徳山大学/現 周南公立大学福祉情報学部 教授)

中嶋克成氏 (旧 徳山大学/現 周南公立大学福祉情報学部 講師)

温泉入浴前後のコレステロールエステル値の変化を測定し、数値モデルによる温泉効能(主に動脈硬化症の改善)を分析。また、入浴前後の肌の水分量や弾力性を測定し、慢性皮膚病への効能を検証。

令和3年度
新・湯治の効果
に関する
協同モデル調査

湯野温泉
(山口県周南市)



6. 発表③ 温泉地×東洋医学(中医学)×美肌

講師 石井宏子氏 (株式会社温泉ビューティ研究所 代表取締役)

温泉地での滞在により、人体の五行経路(体質や体調を5つに分類する中医学の考え方)が平衡状態に近づくかを計測し、それにより心身のバランスが整い、肌の状態が向上したかを検証。

令和3年度
新・湯治コンテンツ
モデル調査

法師温泉
(群馬県みなかみ町)



7. 講師を交えた参加者との意見交換

8. 閉会挨拶

*講演タイトルは、変更となる可能性があります。
*各講師の発表後に、講師へ質問時間を設けています。

講師プロフィール

おかだともあき

岡田友悟氏 (NPO法人日本スパ振興協会 理事長)

長年にわたり化粧品関連の商社、温浴関連ビジネスに勤務、多くの温浴施設・スパの立ち上げにかかわる。日本のスパの啓発・発展のため、さまざまなイベントを開催、書籍の執筆や編集を行う。2002年日本スパ振興協会の立ち上げに参加、理事に就任。2005年理事長就任。2004年、日本初のスパに関する国際会議「ISPA 2004 JAPAN」を成功に導く。2008年、沖縄発のスパに関する国際会議「NSPA 2008 OKINAWA」を開催。2014年からは琉球大学にて日本初のスパの専門講座「スパマネジメント論」を実施。

こうじょうじゅん

向上潤氏 (湯野温泉事業協同組合 (代理) / 近畿日本ツーリスト株式会社 四国支店)

これまで旅行会社や観光協会での勤務、個人事業を通して湯野温泉と連携し、組合の活動に関与。現在は近畿日本ツーリスト株式会社に勤める。令和3年度新・湯治の効果に関する協同モデル調査を立案・実施。各温泉地と連携して泉質効果の調査や地域資源を活かした着地型旅行商品及び体験プログラムの企画・実施をおこない、温泉地の活性と観光客及び立寄り利用客の拡大を図る。

かがみひろゆき

鏡裕行氏 (旧 徳山大学/現 周南公立大学福祉情報学部 教授)

物理学、数学、情報科学とその周辺分野を専門に、主に数理モデル的手法で自然現象をはじめとした諸現象の機構を明らかにしてきた。温泉においては疾病の数理モデル、間欠泉の数理モデルなどの構築に従事。2021年に任意学術団体「温泉知研究会」を結成し湯野温泉で新・湯治の効果に関する協同モデル調査事業に取り組み、2022年は新・湯治コンテンツモデル調査事業を実施。2023年9月、全国から研究者100名が集まる日本温泉学会大会の大会委員長を務める。日本温泉学会編集委員/代議員。

なかしまかつしげ

中嶋克成氏 (旧 徳山大学/現 周南公立大学福祉情報学部 講師)

運動の効果に関する研究や介護予防に取り組むほか、徳山大学アクティブ・ラーニング研究所で地域連携・地域活性化に関する活動に従事。2021年に任意学術団体「温泉知研究会」を結成し湯野温泉で新・湯治の効果に関する協同モデル調査事業に取り組み、2022年は新・湯治コンテンツモデル調査事業を実施。介護福祉士、社会福祉士、健康運動指導士。

いしいひろこ

石井宏子氏 (株式会社温泉ビューティ研究所 代表取締役)

温泉の美容力を研究する日本でただひとりの温泉ビューティ研究家。旅にでかけて宿に泊まることをライフワークとし、トラベルジャーナリストとして取材・執筆、講演など年の半分は日本・世界を旅する。温泉地の自然環境にも着目し、ドイツ・ミュンヘン大学アンゲラ・シュウ気候医学教授に学び「気候療法士」資格を取得。温泉、自然環境、食事、宿での過ごし方などを通じて、心も体もきれいになる新しい旅“ビューティーツリズム”を提唱。外資系化粧品会社、海外ブランドのマーケティング・広報の経験から、温泉地や温泉宿のブランディングやバリューアップもサポート。

参加申込の方法

主な対象者

- ① 「チーム新・湯治」 チーム員 (構成員を含む)
- ② 「チーム新・湯治」 への参加を
検討している団体の方
- ③ 報道

お申込み方法

下記申込フォームからお申込みください。

★申込〆切：12月14日 (水) 12時

東京会場へのアクセス



最寄駅：東京メトロ銀座線、半蔵門線、都営大江戸線「青山一丁目駅」5番出口から徒歩3分

現地東京会場参加



定員
20名
(申込順)

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mjsf-sfpcn-a2a6c0e2e155a2638ef2b2bfa8e8e4935>

ご連絡事項

- ・ご自身で検温され、平熱またはそれ以下の場合のみ会場へお越しください。
- ・咳・咽頭痛等の症状がある場合は、体調を最優先していただきご参加をお控えください。
- ・必ずマスクをご着用のうえお越しいただき、セミナー中も必ずご着用ください。
- ・アルコール消毒液を準備しておりますので、必ずご使用ください。
- ・会場で体調不良であることが見受けられた方にはスタッフからお声がけのうえ、誠に申し訳ございませんがご退席をお願いする場合がございます。
- ・感染症予防・対策のため席数が限られておりますので、当日参加は不可とさせていただきます。
- ・行政からの指示や関係者の感染などにより、現地開催については中止のご連絡をさせていただきます。その場合はオンライン配信の視聴用URLをご案内いたします。

オンライン参加



<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=M=mjsf1bmhpg-4d8476db76d8f16fc2e83e628c371b40>

ご連絡事項

- ・オンライン会議システムZoomの利用を予定しています。
- ・ご参加の際は、ご自身のパソコン、スマートフォン、タブレットいずれかをご用意ください。
- ・Zoomの使用に掛かる通信料は、参加者のご負担となります (Zoomの使用自体は無料です)。
- ・参加用URLを事前にご連絡しますので、申込締切後のご参加は不可とさせていただきます。

お問い合わせ

(公財) 日本交通公社 チーム新・湯治係 (後藤・守屋・磯貝・安谷) 宛
[環境省 令和4年度「チーム新・湯治」運営等実施業務 請負事業者] 【TEL】03-5770-8440 【FAX】03-5770-8359
【E-mail】shintoji-seminar@jtb.or.jp 【住所】〒107-0062 東京都港区南青山二丁目7番29号 日本交通公社ビル